

オデッサの虐殺：9年前、ウクライナのネオナチが50人を焼き殺した

<https://sputnikglobe.com/20230502/odessa-massacre-9-years-ago-ukrainian-neo-nazis-burned-50-people-alive-1110025933.html>

Sputnik International

May 2, 2023

キエフ政権は、この悲劇が起こって、臨時政府がその権力を強化し始めて以来、この血に飢えた野蛮行為を、見て見ぬふりをし続けてきた。

5月2日は、「オデッサの虐殺」という恥ずべき名によって、ずっと記憶されるであろう。この日は、やがて起こる大悲劇の、何のけぶりも様子もなく始まった。市民たちは、「ユーロマイダン」と呼ばれる、西側の援助による暴徒団の中で、新しく権力を掌握したキエフ臨時政府の、反ロシア政策に反対する、平和的なデモのために集まっていた。

しかし、その後しばらくして、彼らの平和的ラリーは、ネオナチのギャング軍隊によって残虐にも中断された。この者たちは、ハリコフとドネプロペトロフスクからやってきて、オデッサに進入し、暴力と流血を求める者たちだった。国粹主義者たちが、ウクライナ・ウルトラと呼ばれる暴漢たちと協力し、銃や火炎瓶によって完全武装した暴徒と一緒に、集合していた市民たちを攻撃し始めた。武装したマイダン支持の暴徒たちは、ラリー参加者たちを断罪しながら、「Kulikovo ポール広場」の方へ追い詰めた。

そこで抗議者の一部が、近くにあった「労働組合ビル」に避難場所を求めようとした。しかし、マイダン支持の過激派は、この建物に放火することを決め、誰も逃げ出せないようにこれを閉鎖した。一方、警察はこの残虐行為に目をつぶっていた。この地獄に閉じ込められ、窓から飛び降りようとした者たちは、待ち構えていた暴漢たちに棍棒で殴られて死んだ。数十人がもがき苦しんで死んでいった。

市民権活動家たちは、オデッサのこの事件を、第2次大戦以来、ヨーロッパの目撃した最悪の市民抗争だと呼んだ。しかしキエフ政府は、ネオナチ軍事集団とともに仕事を続けた。なぜなら、彼らこそ最初に、キエフ政府を権力につけた者たちだったから。

そのほとんどの場合、この人類に対する悪魔的犯罪の下手人たちは、文字通り殺人罪を無罪放免された——この惨劇の詳しいフィルムがあるにもかかわらず。そのある者は、いまだにウクライナ「国家」のために働いており、活発に政治に参加している。

しかし人々はこの虐殺を記憶しており、その犠牲者は今も正義が行われるのを待っている。

[1 から 11 までの写真（クリックして参照）の説明文]

1. 人々が、この地獄劇で殺された方々のために、花を捧げ喪に服している。
2. オデッサの労働組合ビルが、内部に人々を閉じ込めたまま、炎に包まれている。
3. ナショナリストたちは労働組合ビルの周りで、ほとんど喚き叫んでいた。
4. ウクライナの警察は、この残虐行為を無視しようと努めた。
5. 誰も、消防士を呼ぼうとさえしなかった。
6. 過激派の中には、この放火から起こった地獄の周りで、社会メディアのために写真やビデオを撮る者がいたが、実は、自分たちの犯罪を記録していることに、彼らは気づかなかった。
7. 消防団は最後に「到着」はしたが、すでに誰も救うことはできなかった。
8. 翌日、オデッサはこのホラー劇に目覚めた。市民たちは、この残虐行為が、キエフ支持の者たちによる犯行であると知り、青ざめた。
9. ある年配の血縁者が、17歳の Vradim Papura の棺に縋って泣き崩れている。彼は労働組合の窓から飛び降りて死んだ。
10. ネオナチによって虐殺された人々を悼むラリーが行なわれた。
11. この労働組合ビルは永遠に、ユーロマイダン支持者たちの、野蛮と血に飢えた行為のシンボルとして残るだろう。

[訳者 Greachain 注]

ウクライナ問題は、2014年に起こったこの惨劇から始まったのだから、現在のウクライナ政権はこの暴力から発している。メディアや日本政府が、この事件を知らないか、知らないふりをしてウクライナやロシアを論ずるのは、犯罪的というべきで、彼らに何かを論ずる資格は全くない。

これをよく読むと、これを起こした者たち（ネオナチ）のサイコパスぶりがよくわかる。それは、9/11テロを起こした者たちのサイコパスとよく似ている。それは更に、我々に原爆を落とした者たちのサイコパスでもある。これを何とも思わぬ鈍感な者が、「歴史認識」などと言う資格はない。歴史認識とは自己認識ということであり、自分が何であ

るかを知らないということである。そういう者たちが、アメリカのサイコパスたちに同調して、結局は日本を潰してしまうことになる。犯罪を犯罪として認識できない者たちが、いま世界をのし歩いている。

現時点（5/08, 22時）の Sputnik International トップに出ている記事は、「**ウクライナ情報チーフの〈ロシア人を殺す〉発言は、キエフがテロ攻撃を組織していることを証明する——クレムリン**」というもので、今言ったばかりのことが、ここでも証明されている。キエフ政府のテロ/サイコパスは「オデッサの虐殺」以来、一貫して変わっていない。<https://sputnikglobe.com/20230508/ukrainian-intel-chiefs-killing-russians-comment-proves-kiev-organizes-terror-attacks--kremlin-1110192410.html>